

科目名	担当教員	学期	単位
日本政治思想史演習A	梅森 直之	前期	2

講義概要

本演習においては、ナショナリズムや帝国主義、植民地主義に関する基本的な文献を検討しながら、日本における近代の思想史の意味について考察する。本年度前期は、とりわけ植民地化と脱植民地化にかかわる諸問題に焦点を合わせ、近代日本の国家形成と帝国主義化を、世界史のなかに位置づける視座と方法を模索する。

シラバス

近代日本のモダニズムとナショナリズムにかかわる以下の研究・史料・文献を中心に順次検討する。担当者には、レジュメを用いた報告が求められる。

- 1-5回 総論：近代の超克をめぐる：ハリー・ハルトゥーニアン（2007）近代による超克：戦間期日本の歴史・文化・共同体. 岩波書店
- 6-8回 協同主義をめぐる：三木清の思想的位置
- 9-11回 リベラリズムと総力戦体制：石橋湛山とその時代
- 12-14回 戦後思想の展開：民衆史、高度成長文明論
- 15回 まとめ

教科書

ハリー・ハルトゥーニアン（2007）近代による超克：戦間期日本の歴史・文化・共同体. 岩波書店

参考文献

評価方法

クラスへの貢献とレポートにより総合的に評価する。

関連URL

備考